

〔第2回嬉野市新庁舎建設検討委員会における意見等に関する回答〕

No	頁		委員意見	修正内容
	旧	新		
①	1	2	これまでの経緯や上位計画(フロー図)との関連性があったほうがわかりやすい。	基本計画策定までの経緯及び上位計画との関連性のフロー図を挿入
②	1	4	基本理念の説明文に、人、自然、産業を守るだけでなく、「育てる」という文言が入れてはどうか。	「次の時代にも豊かな自然環境・人・産業を守り、育てることも大切です。」に修正
③	2	5	第2章 建築計画に関する検討の欄のページ数はほかのページにも関わるので不要。	ページ数は削除
④	2	5	新庁舎の基本方針で、「新庁舎の位置や機能について具体的に検討を進めていきます」とあるのは、検討委員会の立ち位置がわかりにく。	「新庁舎の位置や機能・性能等について、第2章で具体的に定めます」に修正(性能等を追加)
⑤	3~10	6~18	新庁舎の位置は、6ページ以降の用途地域などいろいろ検証した結果、最後にここに決めましたという構成がわかりやすい。	3ページ~10ページの構成順を変更。(6ページ~18ページの間で構成順を変更)
⑥	11	6・7	庁舎の規模に関して算定が少々乱暴。	1庁舎になることにより重複する面積を削減した延床面積の算定方法に変更
⑦	11	7	新庁舎の延床面積を6,500㎡以下とすることを目標としますは、6,500㎡程度を目安にするとかの表現がいい。	「新庁舎の延床面積は6,500㎡程度を目標とします」に修正
⑧	12	8	人口推計値は市の総合計画との整合性は取れているのか。	総合計画の数値目標に変更しました。(推計値は24,700人ですが、目標値である25,200人としました)
⑨	12	8	来庁者用駐車台数は、「来庁機会の減少も見込まれるため」という理由で数字が出されているが、合わない。	「税務申告等の多い時期を考慮して台数を3割増しとし、65台とします」に修正(「来庁者用駐車台数を81台程度とします」に修正)
⑩	13	9	職員用駐車台数に関して、来庁者用は減るが職員用は確保するというのは気になる。	職員用駐車場に関しては、「敷地内だけでなく」の文言を挿入

No	頁		委員意見	修正内容
	旧	新		
⑪	13	9	身障者用駐車場必要駐車台数は、ひとにやさしい嬉野市であるなら、基準以上であるべき。	「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に基づく「建築物移動円滑化誘導基準」及び「佐賀県福祉のまちづくり条例」に基づく「ユニバーサルデザイン施設整備基準」から算出した台数を確保します」に修正 (バリアフリー法も佐賀県福祉のまちづくり上程も義務的な基準と望ましい基準の2種類があり、そのうち高い基準である望ましい基準を適用することを明示するため)
⑫	13	9	駐輪台数の想定は、数字を示したほうが、市民にわかりやすい。	現時点で駐車台数の見込みがつかめないため、「可能な限り多く確保する」という表現のままとする。
⑬	7	11	候補地(計画地)の周辺状況をもう少し書き加えたほうがわかりやすい。	①計画地周辺の状況、②道路幅員状況 ③高低差の状況の各項目ごとに状況を追記(候補地の断面イメージ挿入)
⑭	4	16・ 17・ 18	建設候補地の比較で、候補地A北側しかないということをもっとはっきり示したほうがいい。	16ページ及び17ページの候補地比較表に敷地要件、安全性や周辺道路への影響の項目を追加し、各項目の説明も肉付けする。18ページに「庁舎南側にまとまったスペースを確保でき庁舎としてのシンボル性を確保できること、他案と比べ最も経済的なことから」の文言を挿入
⑮	14	19	デジタル化に関して、新庁舎の機能の考え方のところに前段として考え方を入れておけばわかりやすい。	新庁舎の機能の考え方の冒頭に全体の考え方の文言を挿入
⑯	14	19	(1)市民サービス機能で、情報発信が同じ内容で二段書きになっている。	1段に整理して表示(「検討します」、「図ります」は「提供します」、「確保します」に修正
⑰	14	19	「塩田庁舎はネットワーク機能を活用し」とあるが、ICT技術をどこにどう入れていくのか見えていない。	(2)窓口機能の項目に移動し、具体的な表現で文言を追加
⑱	17	20	(7)ユニバーサルデザインで、誘導基準という高い基準を狙うのが大事になるので、高い基準を目指すということを詰めたほうがいい。	より望ましいレベルの基準を目指す計画とする内容の文言を挿入 (送迎やタクシー利用時の対応としての文言は、踏み込み過ぎのため削除)
⑲	15	20	(7)ユニバーサルデザインは、市民に関係することのため、もっと前段に記載したほうがいい。	(1)市民サービス機能 (2)窓口機能に続く(3)にユニバーサルデザインを持ってくる。

No	頁		委員意見	修正内容
	旧	新		
⑳	16	21	(5)施設管理・運用・防犯・セキュリティ機能で、「各地域拠点をICTで繋ぎ」は、具体的な拠点のイメージがあるのか。	各地域コミュニティ(7箇所)を想定していたが、実現性の面で不透明なため、各地域拠点は削除し、「ICT技術を活用し」に修正
㉑	17	22	(8)景観・周辺環境への調和は、もう少しキーワードがあって、どういった景観を目指すとしたほうがいい。	文言を追加
㉒	20	25	構造方式の検討の表中「工期」の「安定した工期」とあるのはわかりにくいので表現を変えたほうがよい。	「一般的な工期で施工可能。申請も通常の申請期間で可能」に修正
㉓	20	25	構造方式の検討の表の一番下に割増率みたいな目安となる図を入れてもらいたい。	表中に建設工事費を指数で表記した「建設費」を追加
㉔	21	26	設備計画の中に「温泉熱利用を検討します」ぐらいの内容を入れてみてはどうか。	実現性が高くないため、盛り込まない。
㉕	21	26	建物の環境配慮イメージ図の中に大きな木が描かれているが、何かそそられるものがあれば書いてもらいたい。	国土交通省の建物環境配慮イメージ図を引用していますので、このままとします。
㉖	23	28・30	事業手法で、「従来方式としての設計・施工分離方式を採用します」とあるのは、決定ということでもいいのか。決定を前提とした事業計画、事業費であり、それを全面的に打ち出すということでもいいのか。	事務局案としては従来方式がベターと考えていますが、検討委員会で別の事業手法が望ましいという見解であれば、基本計画案を修正したいと考えています。従来方式で問題なければご提示している事業費等を記載すべきと考えています。
㉗	23	28	事業方式の比較の中のデメリットに、事業期間が長くなって合併特例債は使えないというのがあってもいい。	事業手法のDB方式のデメリット欄に「要求水準の作成が必要となり、事業全体が長期化してしまう」の文言を挿入
㉘	23	28	取捨選択したら、「従来方式(設計・施工分離方式)」にしかないという表現をしてもらいたい。	従来方式にしかないという表現は難しいため、「従来方式としての「設計・施工分離方式」を前提に進めます。」に表現を変更
㉙	24	29	事業スケジュールで、変更になる場合の理由がない。	「竣工までのスケジュールは設計内容や施工方法により変更となる場合があります」に修正

No	頁		委員意見	修正内容
	旧	新		
③⑩	24	29	ライフサイクルコストで「維持管理費は当初建設費の3～4倍を要します」とあるが、「当初予算以上にオーバー」ぐらいの表現でいい。	「維持管理費は建設費以上となります」に修正
③⑪	25	30	概算事業費の「36億円(税込)程度」の表現は、床面積も決まっていない中、財源計画の中でそこまでしか出せないというのは気になる。	床面積を6,500㎡程度と想定しての概算事業費を提示しています。財源計画は上限というよりも目安ということで提示しています。
③⑫	25	30	外構工事費、付帯工事費、事業スケジュールにも造成が入っていないのは、今の地形を変えないということで、事業的にもスケジュール的にも造成が入ってなくて大丈夫なのか。	候補地Aの北側案であれば大規模な造成はないと考えています。計画の詳細が決まっていないことやスケジュールに大きくかわる規模でないと考えますので記載なしとします。
③⑬	25	30	ケースモデルの図には、説明文があるといひ。	本文に「右図のような急激な」の文言を追加